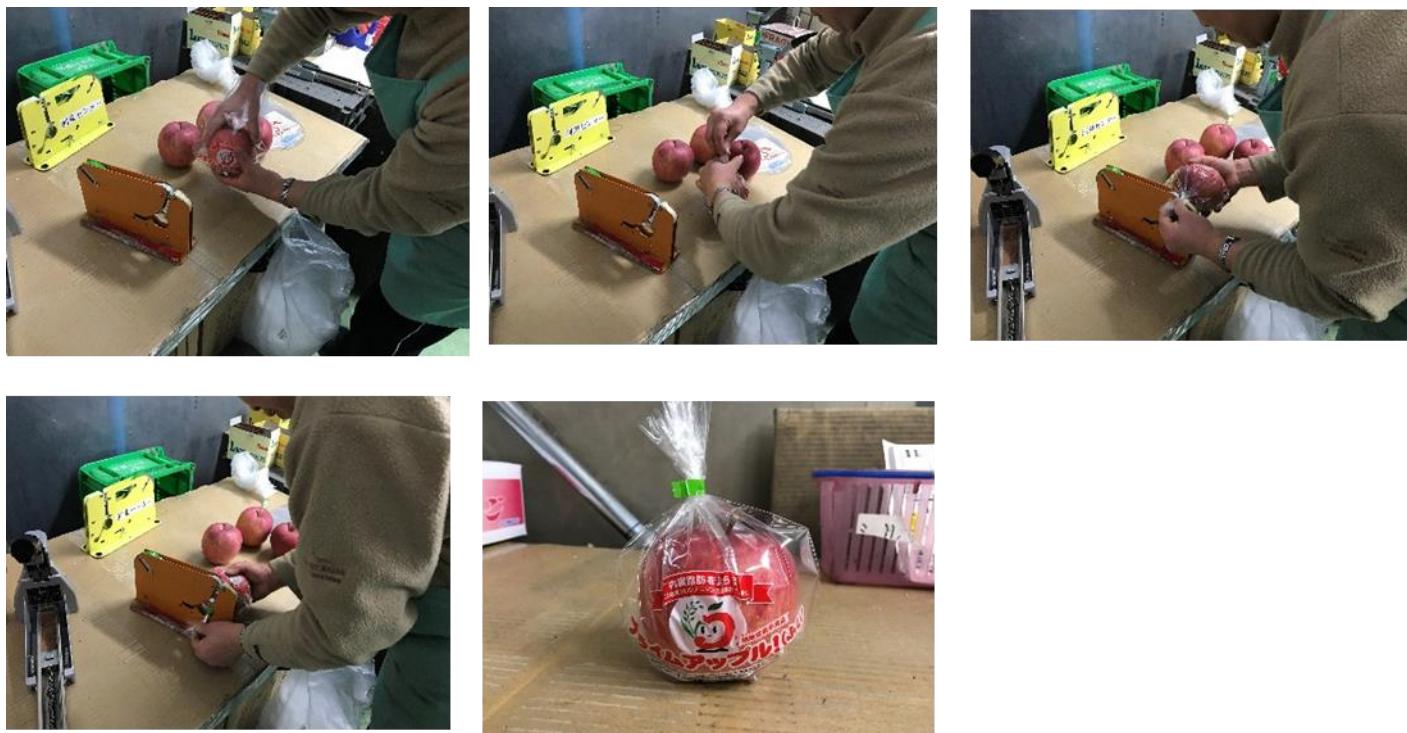


実績報告書

補助事業者	つがる弘前農業協同組合（代表理事組合長 工藤文明 氏）																				
事業の名称	りんご個別包装の市場調査及び自動袋詰装置導入による効率化の検証																				
補助事業の期間	平成 30 年 6 月～平成 31 年 2 月 28 日																				
総事業費(税込)	14,040,000 円																				
補助金額	2,000,000 円																				
補助対象経費	自動袋詰（りんご個別包装）装置導入経費一式																				
事業の概要	りんごの個別包装専用の鮮度保持袋の開発と、機能性表示食品として消費者庁に届出が受理された「プライムアップル！（ふじ）」の商品化を背景に、りんごの個別包装市場を創出するため、人口減少社会に対応した自動袋詰め装置を導入し、効率的かつ安定的なりんごの個別包装体制を構築する。加えて、生鮮食品としての衛生面や鮮度保持による利便性向上に係る市場評価の調査を実施し、りんごの市場価値を高める新たな手法を確立する。																				
補助事業遂行による成果	<p>りんご専用に開発された鮮度保持袋を使用して、りんごを効率的に個別包装できる装置の設計・開発を実施し、りんご集出荷施設内に設置した。</p> <p><りんごの個別包装体制></p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷計画量に対応するためには、1時間あたり 900 個程度の個別包装を実施する必要がある。手作業で実施する場合は 7.5 人/時間の人手が必要であったが、自動袋詰装置導入により 2 人/時間の人員で 900 個/時間の個別包装が可能となった。 <p>※導入前との比較（1時間あたり 900 個処理）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">内 容</th> <th style="text-align: center;">自動袋詰装置 (導入実績)</th> <th style="text-align: center;">自動袋詰装置 (計画段階)</th> <th style="text-align: center;">人 力</th> <th style="text-align: center;">備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">必要人数</td> <td style="text-align: center;">2名</td> <td style="text-align: center;">4名</td> <td style="text-align: center;">7.5名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人件費</td> <td style="text-align: center;">1,500 円</td> <td style="text-align: center;">3,000 円</td> <td style="text-align: center;">5,625 円</td> <td style="text-align: center;">時給 750 円換算</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1 個当たり人件費</td> <td style="text-align: center;">1.7 円</td> <td style="text-align: center;">3.3 円</td> <td style="text-align: center;">6.3 円</td> <td style="text-align: center;">73% 削減</td> </tr> </tbody> </table> <p><市場ニーズ調査></p> <p>個別包装による密閉化、鮮度保持袋の活用について以下の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 鮮度の長期化により、商品の入替サイクルが伸びることで量販店のロス削減につながる。 これまでにない商品形態であるため、消費者の購買意欲向上が期待できる。 <p>各市場から個別包装りんごの引き合いもあり、今後、量販店等を含めて販路を拡大していく。</p> <p>人口減少社会において、りんごの消費拡大を図っていくためには、生活スタイルの変化に対応した利便性や食品の安全安心の一層の確保など、新たな価値を担保していくことが必要である。鮮度保持袋によるりんご個別包装は、保存期間が通常の約 2 倍伸び、食品ロスの削減が期待できるほか、消費者が直接りんごに触れることによる汚損リスクが減少し、生鮮食品として安心感に繋がっている。</p> <p>補助事業の実施により、衛生面向上と鮮度保持の両面により高付加価値化が期待できる個別包装りんごの評価を確認することができた。加えて、効率的な出荷体制を構築することで人手不足の解消・人件費の抑制につながり、生産者所得向上に寄与した。</p>	内 容	自動袋詰装置 (導入実績)	自動袋詰装置 (計画段階)	人 力	備 考	必要人数	2名	4名	7.5名		人件費	1,500 円	3,000 円	5,625 円	時給 750 円換算	1 個当たり人件費	1.7 円	3.3 円	6.3 円	73% 削減
内 容	自動袋詰装置 (導入実績)	自動袋詰装置 (計画段階)	人 力	備 考																	
必要人数	2名	4名	7.5名																		
人件費	1,500 円	3,000 円	5,625 円	時給 750 円換算																	
1 個当たり人件費	1.7 円	3.3 円	6.3 円	73% 削減																	

実績報告書

◆自動袋詰シール機導入前（手作業）



◆自動袋詰シール機導入後

